

野川大沢調節池（野川）

施設概要

野川大沢調節池は、かつての駐留米軍調布基地跡地に、貯留量約9万 m^3 の調節池（掘込式）として、平成14年度に整備されました。

その後、野川流域河川整備計画の改定に伴い、整備水準が引き上げられたことから、貯留量を約6.8万 m^3 拡大するため、調節池の一部を深くする拡張工事を平成28年度に開始しました。

拡張工事の間も既存の洪水調節機能を維持しながら作業が進められ、令和3年度に貯留量約15.8万 m^3 の調節池が完成しています。

また、工事期間中は三鷹市大沢野川グラウンドの利用が停止されていましたが、令和5年度より利用が再開され、現在は平常時に三鷹市大沢野川グラウンドとして多くの市民に利用され、親しまれています。



規模拡大前の野川大沢調節池の全景



規模拡大後の野川大沢調節池

施設諸元

位置	三鷹市大沢五丁目、大沢六丁目
完成年度	令和5年度
施設形式	掘込式
敷地面積(m^2)	43,100 m^2
貯留量(m^3)	158,000 m^3
越流堤延長(m)	約51.6m

